

全国堆肥センター協議会

平成16年 1月15日

Eメール通信 第19号

全国堆肥センター協議会

畜産環境対策担当者全国会議の開催

家畜排せつ物法の完全施行を11月に控え、農林水産省は1月14日に都道府県や酪農畜産関係団体の担当者を集め畜産環境対策担当者会議を開催した。

冒頭の挨拶で井出畜産部長は、家畜排せつ物法の猶予期限切れが近づき、待ったなしの状況になった。BSE、鳥インフルエンザの問題でも明らかなように国民の畜産に対する目は厳しくなっている。食の安全、安心をすすめる中で畜産が施設整備をせずに、家畜ふん尿を垂れ流しては、畜産業を営むことは難しくなっている。未整備の施設については直ちに整備の行動をおこしてもらいたいとハツパをかけた。

インターネットによる堆肥情報発信についてのアンケート結果について

独立行政法人 農業・生物系特定産業技術研究機構 九州沖縄農業研究センター総合研究部 樽本祐助主任研究官から昨年末に同氏が実施された「インターネットによる堆肥情報発信についてのアンケート結果」について案内がありましたので、その全文を添付しますので、参考にして下さい。